



10月25日、市政協力委員連絡協議会の各学区会長と榎本市長との懇談会を開催しました。懇談会では、市政協力委員

### 市政協力委員各学区会長と榎本市長が懇談

を代表して、渡邊洞曉代表幹事から、下京区のまちづくりの推進に対するお礼と、区基本計画を進める各学区の活動や今後の課題が報告されました。榎本市長からは、各学区会長の皆さんの目ざす活動に対する感謝の意と区民主体のまちづくりに向けた決意が述べられ、市政運営へのより一層の支援のお願いがありました。

なお、この市政懇談会に先立ち、各学区会長と下京区長との懇談会が開催され、学区会長から各学区でのまちづくり活動の発表がありました。

## 人権文化の息づくまちを目指して

11月12日～25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間、そして12月には人権月間です。下京区では、一人一人が個人として尊重されるまちを目指して、人権の大切さについて考えるための取組を行います。多様な価値観を認め合い、互いに個性を尊重することの素晴らしさを再確認してみませんか。

### 人権学習会

子どもたちの人権についての講演を聞いた後に、意見交換を行います。  
日時 12月7日(木)  
午後2時～3時30分  
場所 区役所4階会議室  
テーマ 「子どもの人権を考える」大人の知恵とこころを

### 「女性に対する暴力をなくす運動」

ドメスティック・バイオレンス(DV)という言葉をご存じですか。DVは、配偶者や恋人などの親密な男女間での暴力を指し、その被害者の多くは女性です。区役所では、DVなど女性に対する暴力について考えるパネルを展示します。

### パネル展示

日時 11月13日(月)～24日(金)  
午前8時30分～午後5時  
土日、祝日を除く  
場所 区役所1階ロビー  
男女共同参画推進課(☎22・309)

### 小・中学生による人権啓発ポスター展

人権の大切さに気付くきっかけをつくり、人権意識をは

講師 安保千秋氏(京都市弁護士会 子どもの権利委員会 副委員長)  
費用 無料 申込み 不要

### 平成18年度自治記念式典

開催されました  
自治記念日にあたる10月15日、京都会館で自治記念式典が開催されました。この式典は、市民自らの手による市長の選任、並びに市役所の開庁により、明治31年10月15日に真の自治権を獲得したことを

表彰された皆さん  
永年勤続市政協力委員表彰 7人  
京都市交響楽団創立50周年記念特別感謝状 31人  
ごみ減量推進特別感謝状 2人

表彰された皆さん  
京都市交響楽団創立50周年記念特別感謝状 31人  
ごみ減量推進特別感謝状 2人

くむため、区内の小・中学生から募集したポスターを展示します。  
日程 12月1日(金)～13日(水)  
場所 京都駅前地下街ポルタ西通り

### 街頭啓発

日時 12月7日(木)  
午後1時～  
場所 JR京都駅南北自由通路北側階段下  
☎ まちづくり推進課(☎371・7170)

### フグ・カキによる食中毒にご注意を

フグ・カキは冬の味覚を代表する食材であり、これからの季節たいへんおいしいものです。しかし、フグによる食中毒は毎年全国で30～40件発生し、死亡者も出ています。また、ノロウイルスの原因とする食中毒が年々300件ほど発生していますが、カキによる

### 食中毒予防のポイント

フグは種類の鑑別が難しく、季節による毒力の変動、個体差などがあるため、家庭での

### 旬の味に舌鼓を打とう

### 中央卸売市場第一市場 鍋まつり



今年も、中央卸売市場第一市場で、市場の食材を使った鍋料理や生鮮食品などを販売します。食に関する情報コーナーも設けています。本格的な冬の到来を前に、一足先に温かい鍋料理をいりながら味わってみませんか。

日時 11月23日(祝・木) 午前11時～午後2時  
場所 中央卸売市場第一市場  
費用 入場無料(物販・飲食は有料)  
その他 公共交通機関でお越しください  
☎ 京都市中央卸売市場協会(☎323・6777)



「障がい者の地域生活を考える」地域学習会  
日時 12月11日(月) 午後1時30分～4時30分  
場所 ひとまち交流館 京都3階 第4・5会議室  
対象 障がいのある本人・家族・関係者  
内容 障害者自立支援法の学習と意見交換を通じて障がい者の地域生活について考える  
定員 100人(先着順)  
費用 無料  
申込み 12月4日(月)までに電話またはFAXで下京区社会福祉協議会へ  
その他 手話通訳・要約筆記・点字資料が必要な方は事前ご連絡ください  
☎ 下京区社会福祉協議会 ☎361・1881、FAX361・1663



### 子どもの発熱

子どもが病気になるたとき一番よくみられる症状の一つに発熱があります。子どもが熱を出すときは、非常に不安になり、特に高熱の場合は頭がおしくならぬいかと心配されます。発熱は子どもにとって重篤な症状なので、かまはるべきです。かまはるべきではない場合を除いて、かまはるべきです。

子どもが病気になるたとき一番よくみられる症状の一つに発熱があります。子どもが熱を出すときは、非常に不安になり、特に高熱の場合は頭がおしくならぬいかと心配されます。発熱は子どもにとって重篤な症状なので、かまはるべきです。かまはるべきではない場合を除いて、かまはるべきです。

熱の上がりかけに寒気を訴えるときは温めてもいいですが、上がりきった後は冷やす。あるいは薄着にするなどして、本人が快適な状態にしてあげてください。過度な水分補給も必要ではありません。38.5以上の高熱になるなら、小児で安全性の確認がされている解熱剤(アセトアミノフェン)を使われてもよいです。大事なことは、子どもは熱を出すものであるという落ち着きと適切な対応(看病)ではないでしょうか。  
京都市立病院小児科部長 黒田啓史